

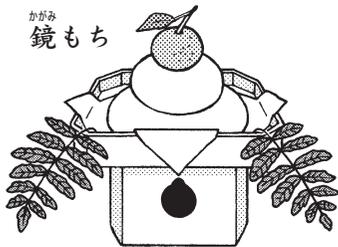
給食だより 1月

新年あけましておめでとうございます。1月は正月をはじめ人日の節句、小正月などの年中行事があります。年中行事は、昔から地域や家庭に伝え続けられているものが多く、その際に特別に食べる行事食があります。正月は雑煮やおせち料理などの行事食を食べる機会を大切にしたいですね。

正月

昔から正月はとても大切な年中行事でした。12月から大掃除を行い、門松を立てて鏡もちを供え、雑煮やおせち料理の準備をします。大掃除は、年神様を迎えるために清めるという意味がありました。門松には年神様が宿ったといいます。鏡もちは古代の円形の鏡のように丸いもちを重ねて、年神様に供える神聖なものです。また、雑煮も供物で、年神様に捧げたものと同じものを食べることで、1年の健康や幸せを願っていました。おせち料理にも、田づくり（五穀豊穡を願う）、黒豆（まめに暮らせるよう）など、いろいろな意味があります。

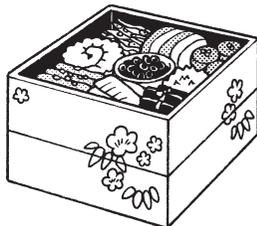
鏡もち



雑煮



おせち料理



人日の節句

人日の節句は、1月7日で五節句のひとつです。この日の朝に、七草「せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのぎ、すずな、すずしろ」の入った七草がゆを食べます。これは、野山で若菜を摘み、自然の芽吹きをいただいて、活力を得る風習でした。

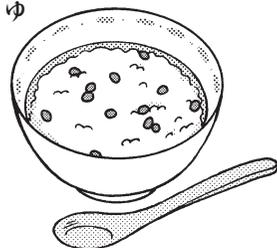
七草がゆ



小正月

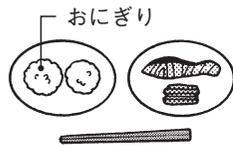
1月15日は小正月です。小正月には、もちを小さく丸めて柳の枝などに刺した「もち花」や「まゆ玉」を飾ります。また、どんど焼きや左義長といって、門松やしめ縄などを集めて積み上げて燃やします。この火でもちを焼いたり、小豆がゆを食べたりします。

小豆がゆ

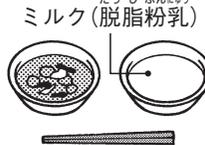


1月24日から30日は全国学校給食週間です

明治22年



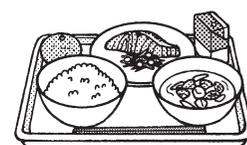
昭和22年



昭和27年



現在



学校給食は、明治22年（1889年）に山形県の忠愛小学校で、貧困児童を対象に無償で昼食を提供したのが始まりです。その後、さまざまな歴史を経て、今に至っています。学校給食が食べられることに感謝していただきましょう。

朝ごはん

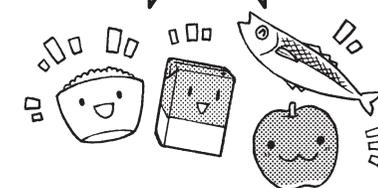
食べているか食べていないかで

こんなに違う

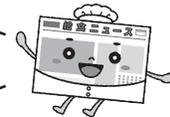


給食費の納入につきまして

みなさまから徴収した給食費は、食材の購入にあてられます。子どもたちによりよい給食を提供するためにも、ぜひ、納期までに給食費をお納めくださいますよう、お願いいたします。



食のことわざ



海老で鯛を釣る

これは、わずかな労力で大きな利益を得ることのたとえです。英語にも似たようなことわざがあります。Throw a sprat catch a mackerel. (小魚を投げてさばをとる)。どちらも魚が出てきます。



保護者のみなさまへ

「一年の計は元旦にあり」（1年間の計画はその年のはじめに決めておくのがよい）といえます。今年は何んな計画を立てていますか？今年1年もしっかり食べて、健康にすごせますように願っています。

